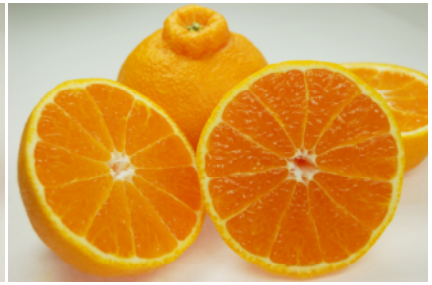


個性的外観で、一目でわかる！「不知火（テコポン）」



1. 果実の出荷時期と特長

出荷時期	12月上旬から5月上旬まで（2月まではハウス栽培中心、3月からは施設栽培中心、4月からの完熟物はハウス栽培もあり）
特長	食味が良く、食べやすい、個性的な外観の柑橘です。春の完熟不知火は、甘味が増す一方、酸味が下がり、食味が一層良くなります。
備考	施設での促進栽培から露地での完熟栽培まで、最も出荷期間が長い柑橘のひとつです。“テコポン”は熊本県果実農業協同組合連合会の登録商標で、品種名は「不知火」です。愛媛県は、熊本県に次ぐ「不知火」の産地です（平成20年産）。

2. 果実の食べやすさ

果皮	①：手で簡単にむけます。 ②：手でむけますが、ややむきにくいこともあります。 ③：手でむくのが大変です。ナイフなどをご利用下さい。
袋	①：薄く、食べてもほとんど気になりません。 ②：やや薄く、袋ごと食べることができます。 ③：厚く、口に残ります。袋をむいてお召し上がり下さい。
種	①：ありません（まれに少量あることもあります）。 ②：あります。

3. 来歴

農林水産省果樹試験場（現：独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構）が育成した、「清見」（♀）と「中野3号ポンカン」（♂）の交雑品種です。交配された時期は1972年ですが、外見上の弱点から、その後、品種登録は行われませんでした。

3世代系譜図（■は父親（♂）、■は母親（♀）、英語表記は外国産）

